

人権だより

No.289(2022.3)

いま せいしゅん
今が青春 【=夢や希望に満ち活力のみなぎる若い時代】

生徒相談室 山岡 愛^{めぐみ}

レベッカの【MOON】、「娘は13になって盗みの味覚えて」。

ザ・ハイロウズの【十四才】、「必ずおまえ14歳にしてやるぜ」。

尾崎豊の【15の夜】、「解らず震えている15の夜」。

松本伊代の【センチメンタルジャーニー】、「伊代はまだ16だから」。

中森明菜の【少女A】、「いわゆる普通の17歳だわ」。

長渕剛の【ろくなもんじゃねえ】、「弱虫ばかりで飛び出した18の俺」。



上記、皆さんの年齢が歌詞に入っている曲の一部です。一部の歌詞だけでは理解できないと思いますので、どうぞ検索してください。ただ言えるのは、どの歌詞も多感な時期である皆さんにぴったりの歌詞だということです。

多感な時期は、ちょっとした事で感情が動きやすいです。私も中高時代、この世の終わりのような傷付き方をし、その当時大好きだった光GENJIの【ガラスの十代】、「こわれそうなものばかり集めてしまふよう輝きは飾りじゃないガラスの十代」の歌詞に胸打たれ、「私の気持ちは私しか知らない」「光GENJIだけが良き理解者だ」と思っていました。決してそうではないのですが(笑)、経験値の少なさと知見の狭さがこうなるのだと、今になって思います。手を差し伸べてくれた大人や仲間はいましたが、自分に陶酔し、「私なんか」とマイナスに考え、周囲の助言も聞かない時期だったと思います。ただ一番輝いていた時期も、この多感な時期でした。青い春とは、まさに中高時代のこの時期のこと。悩み、考え、行き詰まり、一人涙する。だけど、分かち合ってくれた仲間、寄り添ってくれた親、共感してくれた先生がいましました。ちょっとしたことで笑ったり泣いたり…それが青春なのです。話は前後しますが、今の私にぴったりの歌詞もありました。爆風スランプの【45歳の地図】。「私の青春を返せ輝くときめきを戻せ捧げて尽くした月日をさあよこせ」。個人的な意見になりますが、この歳になると、もう戻らない青春を懐かしみ、10代の生徒の輝きが羨ましいです。皆さんはまぶしすぎる!皆さんにたくさんの影響を受け、皆さんに囲まれ、私の身なりは年相応になりましたが、心はいつでも若々しい気持ちでいられています。ありがとう。

最後に、言い方を変えて、終わりにします。

生徒諸君（☺言ってみたかった!）。今この宇和島南中等教育学校で出会った友達、先生、授業、部活、環境に青春するのだ!今の自分に陶醉し、今しかできないことを、とことん追求してくれたまえ!今はわからないかもしれないが、心にも残る、映像としても鮮やかに残る青春時代は、まさに今なのだから!今を今のままで終わらせるな!

【人権委員の声】

- ・今、青春の真ただ中にいる僕は、本当に青春を楽しめているのだろうか？僕は青春とかに今まで興味はありませんでした。しかし、この文章を読んで、青春は人生に一度だけの最も輝かしい時期。だから、残りの青春も大いに楽しんで過ごそうと思いました。身の回りの友だちや先生、両親に頼れるときには頼って、頼られたときにはしっかりと相手をして、みんなといろいろな感情や体験を分かち合えるような関係性を築いていきたいと思いました。（2年 田村 啓明）
- ・勉強にも部活動にも一番打ち込める今の時期を大切にしようと思った。こういった時期を過ごせたことに感謝し、学校の時間全てを共有している先輩、後輩、友人の誰一人も残らず全員が異なった形で今しかできないことを全力でして、個人の力を伸ばせられる南校生でいたい。（4年 二神 陽愛）
- ・私も悩み事があると、一人で抱え込んでしまいます。でもちょっとした変化に気付いてくれる友だちがいたり、快く相談にのってくださる先生がいたり、いろいろな人に助けられています。将来、あの時こうすれば良かったと後悔することのないように、今しかできないことをしっかりと楽しんで、すべての出会いを一期一会と思って大切にしたいと思いました。（3年 吉村 藍香）
- ・青春時代をととても大事にしたいと思います。だから今のままでは絶対に終わらせたくないと思いました。これから大切にしたいです。（1年 渡辺 泰史）
- ・多感な中高生時代には歌や周囲の人々が力になってくれるんだなと感じました。私も自分の支えとなるものを大切にしていきたいと思います。また、今しかない青春を楽しみたいと思いました。（5年 清家 由愛）
- ・多感な今の時期だからこそ、いろいろな感情に囚われすぎず、自分に陶醉し、仲間、家族、先生に感謝し続けて、生活していきたいです。（3年 菅原 広誠）
- ・この宇和島南での出会いをこれからも大切にしながら、今を思いっきり楽しみたいと思いました。（1年 田中 琉貴）
- ・ちょっとした事で感情が動き、傷ついてしまう時期だが、今が一番輝いている時期でもあるらしいので、残りの青春を大切にしていきたいです。（5年 高木 太記）
- ・今を大切に過ごしたいと思います。心の動かせる今だからこそ、いろんなものに触れてみたいと思います。（2年 大下 葵）